

2013 年度 缶サット甲子園 関東大会 実施要領

平成 25 年 7 月 5 日
JAXA 宇宙教育センター

概要

(1) 日程

2013 年 7 月 14 日(日) 10:00~16:00

(当日のタイムスケジュール) ※参加校の数により変更となりました。

- 9:30~ 9:50 受付
- 10:00~10:10 開会式(開会あいさつ、プレゼン&投下順番のくじ引き)
- 10:10~11:30 事前プレゼン
- 11:30~12:10 機体審査(サイズ、重量など計測)／昼食 ※各自、昼食はご用意ください。
- 12:10~13:40 性能審査(投下、動作確認)
- 13:40~15:10 まとめ／事後プレゼン
- 15:10~15:40 審査／特別施設見学(予定)
- 15:40~16:00 審査結果発表／特別講演／閉会式
- 16:00~ 片付け終了後、解散

(2) 会場

JAXA 筑波宇宙センター(茨城県つくば市)
総合開発推進棟 1 階大会議室、グラウンド

特別施設見学: 総合環境試験棟など ※会場は変更となる可能性がございます
(なお特別施設見学は **大会出場者と引率者のみ** 参加となります。)

(3) 運営主体

JAXA 宇宙教育センター

担当: 國方、長田 (連絡先) kunikata.norikazu@jaxa.jp / 050-3362-3073

(4) 申込み方法

缶サット甲子園の申込み時に、希望する地方大会名を **関東大会** として大会事務局に届出を行なってください。

- ・1 チームのみとし、複数エントリーは認められません。
- ・1 チームは、同じ学校の生徒で構成するものとします。複数の高校による混成チームは認められません。
- ・地方大会・全国大会にエントリーできるのは、生徒 3 名・指導教員 1 名の計 4 名です。ただし、製作作業にあたってのサポートメンバーの人数は限定しません。

参加チームは所定の書類を大会事務局に送付してください。

- ・平成 25 年度「缶サット甲子園」参加申込書
- ・平成 25 年度 協議会参加生徒名簿
- ・メディア報道に関する承諾の御願い(※チームの生徒全員分必要)
- ・参加を希望する地方大会名

送付先は和歌山大学 宇宙教育研究所が窓口となっております。

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930番地
和歌山大学 宇宙教育研究所 気付
「理数が楽しくなる教育」実行委員会 事務局 宛

申込み締め切りは **6月10日(月)** とします。

(何らかの事情で申込みが間に合わない場合は、事前に御相談ください)

(5) 保険

参加に当たっては、国内旅行保険に各自で必ず加入してください。主催者側としては保険には入りません。

審査内容

事前プレゼン審査、機体審査、性能審査、事後プレゼン審査で全国大会出場校(出場枠は現在調整中)を決定します。審査は、基本的に全国大会のレギュレーションに沿って行ないます。

また、予選時での缶サットの性能だけでなく、将来性(全国大会へ向けての改良プラン及びそのマネジメントプラン)についても審査します。さらに審査は缶サット本体のみならず、缶サットキャリアの放出機構についても対象とします。

※ 関東予選では、アウトリーチ活動は審査の対象としません。

※ 悪天候や投下装置の故障等により性能審査ができない場合は、事前プレゼン審査、機体審査、事後プレゼン審査および、地上での機能審査(缶サットの動作確認)を実施します。

※ 各プレゼン、機体審査/性能審査の順番は、開会式後にくじ引きで決めます。

● 事前プレゼン審査 (PowerPoint を用いたプレゼンテーション)

ミッションアイデア「自らミッションを設定し、どう実現するのか」を説明して下さい。また缶サットの機構、性能だけでなくキャリアの放出機構についても説明して下さい。事前プレゼンでは、機体及び放出機構の独創性、技術について審査します。なお、プレゼン資料の書式は自由です。

(審査時間)

・10 分間 (プレゼンテーション 7 分、質疑応答 3 分)

● 機体審査/性能審査

クアドロコプターから缶サットキャリアを投下し、キャリアからの缶サット放出、自ら設定したミッションの実行、投下後にミッションの結果確認を行います。なお、缶サットの投下高度はおおよそ 40m 前後を予定していますが、気象の状態によっては高度を下げて投下する場合があります。また当日の運営状況によっては、審査員の判断により投下順序を変更することがあります。

(機体審査)

・サイズ、重量など計測

(性能審査)

・放出された缶サットが安定して降下するかの確認

・着地した時、機体が損傷していないかの確認

・自ら設定したミッションが達成できているかどうかの確認(事前プレゼンとの比較)

● 事後プレゼン審査 (PowerPoint を用いたプレゼンテーション)

自ら設定したミッションの結果を自己評価し、全国大会へむけての改良プランおよびマネジメントプラン(全国大会へ向けてのサクセスラインやスケジュール等)を発表します。なお、プレゼン資料の書式は自由です。

(審査時間)

・8 分間 (事後プレゼン 5 分、質疑応答 3 分)

審査員

神武 直彦(慶應義塾大学)、平田 大輔(株式会社スカパーJST)、森下 拓往(JAXA)

審査結果について

全ての参加校の競技終了後、審査員で協議して決定し、発表します。

以上